

7. 厚生労働科学研究費補助金（免疫、アレルギー疾患政策研究事業）

分担研究報告書

季節性アレルギー性鼻炎の診療実態と経済的影響等の解明のための研究に関する研究

分担研究者 米倉 修二 千葉大学大学院医学研究院 鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学 准教授

研究要旨

WPAI-AS調査票を用いて、一般事業所の従業員を対象にしたpresenteeismの調査を行うために、研究計画書を立案した。また、千葉における2025年のスギ花粉飛散状況を調査した。

A. 研究目的

スギ花粉症の医療経済に与える影響として、スギ花粉症患者の労働生産性への影響について調査を行うべく、研究の立案を行う。またスギ花粉飛散状況は診療実態に影響するため、千葉における2025年のスギ花粉飛散状況を調査する。

B. 研究方法

千葉大学大学院医学研究院倫理審査委員会に「スギ花粉症が労働生産性に及ぼす影響の探索」の研究計画書を提出した。スギ花粉飛散数の観測に関しては、千葉大学医学部屋上でダーラム法にて行った。

（倫理面への配慮）

アンケート調査に関し、個人情報保護について配慮した。WEB上でアンケートの趣旨を文書で説明し、回答前に同意項目にチェックを入れることで、適切な同意を得

C. 研究結果

WPAI-AS調査票を用いて、一般事業所の従業員を対象にしたpresenteeismの調査を行うために、研究計画書を立案した。アンケートは2025年3月にWEB上で行うこととした（承認番号M10740）。ダーラム法による2025年のスギ花粉飛散数は約4600個/cm²であった。

D. 考察

千葉における過去約20年のスギ花粉飛散数の平均

は、約3500個/cm²であり、2025年はそれを上回る飛散数であった。月別の観測数は、2月は約550個/cm²、3月は約4000個/cm²、4月は約40個/cm²であった。アンケート調査はスギ花粉飛散数の多い3月に施行され、好条件下で調査を行うとができた。

E. 結論

当初の予定通り、順調に調査を行うことが出来た。

F. 健康危険情報

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

G. 研究発表

1. 論文発表
なし

2. 学会発表

米倉修二、「花粉症重症化ゼロ」に向けた取り組み（2024/12/6，東京）

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし